

2023年7月27日

山善、新コスモス電機株式会社と共同で
「もっと早く、火災を見つける。」プロジェクトを発足！
一酸化炭素検知機能付き火災警報器 PLUSCO(プラシオ)を拡販

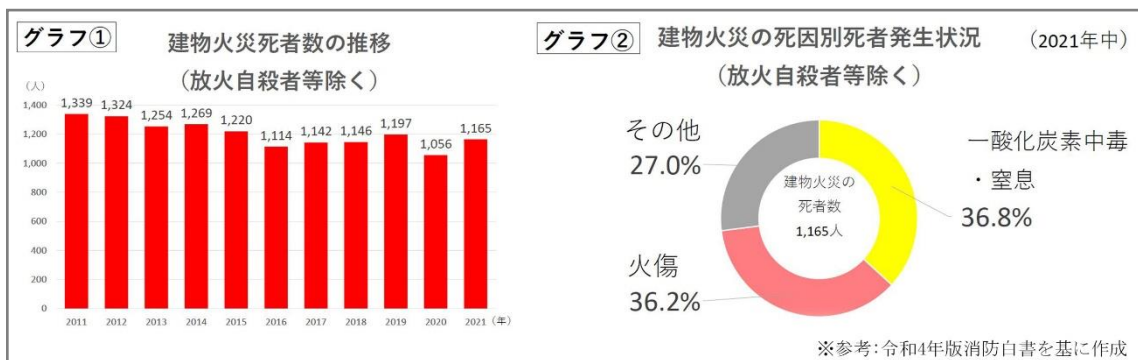
「ともに、未来を切拓く」をパーパスに掲げる株式会社山善(大阪本社:大阪市西区/代表取締役社長:岸田貢司 以下、当社)の家庭機器事業部は、世界で初めて家庭用ガス警報器を開発した新コスモス電機株式会社(本社:大阪市淀川区/代表取締役社長:高橋良典 以下、新コスモス電機)と共同で、火災時の一酸化炭素中毒による死者数を減らすための、「もっと早く、火災を見つける。」プロジェクトを2023年8月1日に発足いたします。



(左から)新コスモス電機株式会社 代表取締役社長 高橋 良典、株式会社山善 取締役 上席執行役員 家庭機器事業部長 中山 尚律

◆「もっと早く、火災を見つける。」プロジェクト発足の背景

建物火災で命を落とした方は、すべての住宅で火災警報器の設置が義務化された2011年に1,339人。その後2016年以降は横ばいとなっており、2021年も依然として1,165人の方が亡くなっています(下記グラフ①参照)。その原因の一つとして考えられるのが、死因の約4割を一酸化炭素中毒・窒息が占めているという点です(下記グラフ②参照)。



一酸化炭素は、無色無臭で人の五感では気づくことができない上、少量でも吸い続けると体が動かなくなったり、意識を失うなどの症状が起き、最悪の場合は死に至る危険なガスですが、その危険性への理解は進んでいません。

新コスモス電機は、「ガス警報器の開発で培った一酸化炭素検知技術で、火災から一人でも多くの命を救いたい」という強い想いで、2008年に一酸化炭素検知機能付きの火災警報器を開発しました。当社もその想いに共感し、2022年9月より、当社の家庭機器事業部で最新機種であるPLUSCO(プラシオ)の取り扱いをスタートしました。

また、住宅用火災警報器の交換目安は10年で、2011年の設置義務化から10年以上が経った現在、多くの火災警報器が交換のタイミングに差し掛かっています。このタイミングで、火災事故から多くの命を救うため、両社の協力関係をより強め、「もっと早く、火災を見つける。」プロジェクトを発足し、PLUSCO(プラシオ)を拡販してまいります。

◆「もっと早く、火災を見つける。」プロジェクトの目的

本プロジェクトでは、「火災による死者数を減らす」ことを目的に掲げており、そのためには、一酸化炭素の危険性について多くの方にご理解いただくことが不可欠です。危険性への理解浸透を図りながら、PLUSCO(プラシオ)の認知度も向上させ、当社の家庭機器事業部の販売ルートにより一般市場への流通を広げることで、PLUSCO(プラシオ)を設置する家庭を増加させ、火災による死者数減少に繋げてまいります。

<主な活動内容>

1	SNS 配信や展示会を通じて、一酸化炭素の危険性を伝えるとともに、PLUSCO(プラシオ)の認知度アップを図る。
2	家電量販店やホームセンター等への拡販を通じて、一般消費者へ PLUSCO(プラシオ)の認知度アップを図るとともに、既設の火災警報器との交換や PLUSCO(プラシオ)の増設を促す。
3	火災実験室「PLUSCO Lab.」(プラシオラボ)の火災実験のデータを通じて、一酸化炭素の危険性を伝える。

◆「もっと早く、火災を見つける。」プロジェクトに対する想い

	<p>新コスモス電機は、「世界中のガス事故をなくす」という想いで、1964年に世界で初めて家庭用ガス警報器を開発いたしました。それから今日に至るまで、ガス警報器も一助となり、日本国内のご家庭でのガス爆発事故、特に死亡事故は激減しました。それと同じように、当社のガスセンシング技術を用いて、火災による一酸化炭素中毒事故を減らしたい、一人でも多くの命を救いたいというのが当社の大きな目標です。このプロジェクトを通じて、山善さんのお力をお借りし、PLUSCO(プラシオ)を多くの方にお届けできればと思っております。</p>
<p>新コスモス電機株式会社 代表取締役社長 高橋 良典(たかはし よしのり)</p>	
	<p>火災警報器の設置が義務化となり、家庭機器事業部では火災警報器の販売を始めて約10年が経過しました。しかし、建物火災の死者数はほぼ横ばい状態であることを知ってショックを受けました。火災による死因の約4割が一酸化炭素中毒・窒息であることを知り、この一酸化炭素検知機能付き火災警報器 PLUSCO(プラシオ)を積極的に拡販したいと強く思いました。</p>
<p>株式会社山善 取締役 上席執行役員 家庭機器事業部長 中山 尚律(なかやま なおのり)</p>	



◆一酸化炭素検知機能付き火災警報器 PLUSCO(プラシオ) SC-335

<商品特長>

1. 一酸化炭素 100ppm を検知すると、LED 点滅と音声でお知らせ!
2. 業界初(※1) !
“CO 反応式 (※2)” で煙センサの感度を 2 倍にし、火災をいち早くお知らせ!

PLUSCO(プラシオ)は、従来の火災警報器(煙式)に一酸化炭素(CO)センサを“プラス”した、新しい火災警報器です。一酸化炭素 100ppm を検知すると、LED 点滅と音声で一酸化炭素注意報をお知らせするとともに、煙センサの感度を自動的に 2 倍に引き上げ、従来の火災警報器が通常煙濃度 5~15%/m (※3) で火災警報を発報するところを 2.5~7.5%/m と約半分の煙濃度で、より早く火災をお知らせします(“CO 反応式”)。

住宅火災の発火源別死者数は、たばこが最多となっており、また就寝中の事故が多いことがわかっています。寝たばこによる布団のくん焼火災は、特に一酸化炭素が発生するケースが多く、一酸化炭素を検知することでより早く火災をお知らせする PLUSCO(プラシオ)が、逃げ遅れ防止に役立ちます(下記グラフ③参照)。

PLUSCO
プラシオ

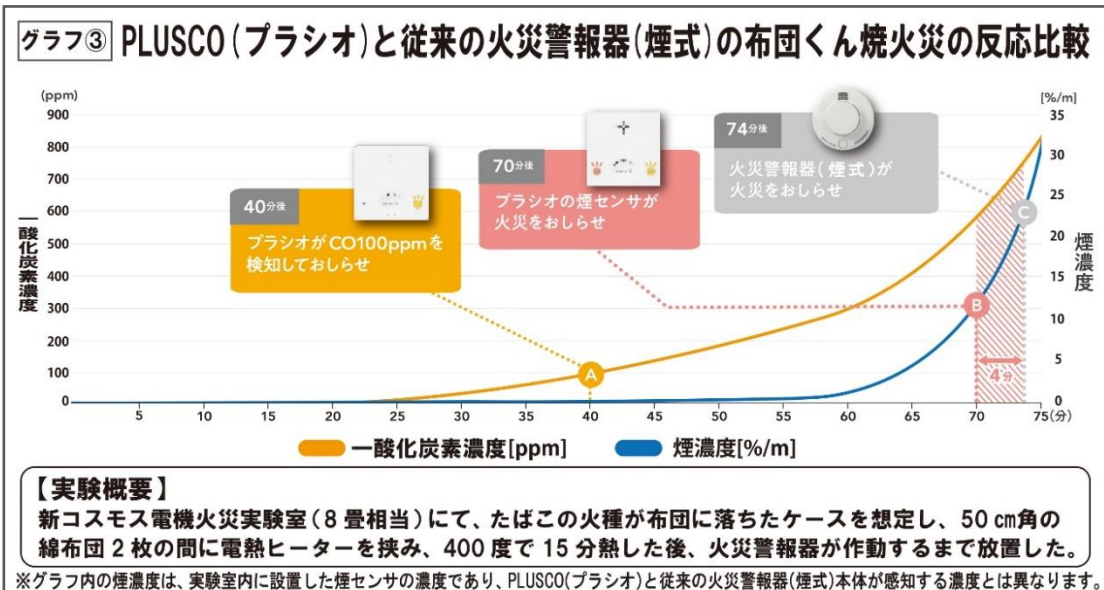


※1:“CO 反応式”で煙センサの感度が 2 倍になる一酸化炭素検知機能付き火災警報器において。

(2023 年 7 月現在 新コスモス電機調べ)

※2:住宅用防災警報器及び住宅用防災報知設備に係る技術上の規格を定める省令(平成 17 年総務省令第 11 号)第 11 条の規定に基づき、総務大臣に認証された基準の特例です。

※3:煙濃度を表す単位です。例) 10%/m の場合、1m 離れた場所にある光がその煙により 10%減光する煙濃度です。



<PLUSCO(プラシオ)特設サイト>

URL: <https://www.cosmos-plusco.com/>

<商品仕様>

PLUSCO
プラシオ



設置例(壁)



設置例(天井)

商品名・型式	一酸化炭素検知機能付き火災警報器 PLUSCO(プラシオ) SC-335
電源	専用リチウム電池 CR17335EG
電池寿命	約 10 年 ※ご使用の環境・条件などによって短くなる場合があります
定格	DC3V、300mA
使用温度範囲	0 度～+40 度(結露しないこと)
本体サイズ	幅 75×高さ 75×奥行 52 mm(突起部を除く)
質量	約 145g(電池含む)
付属機能	故障お知らせ機能、電池切れお知らせ機能、 交換期限お知らせ機能
火災警報機能	<ul style="list-style-type: none"> ・種別：光電式住宅用防災警報器(CO 反応式 (※2)) ・感知方式：煙感知方式 ・型式：電池方式、2 種、自動試験機能付 ・表示/発報方式：即時警報型、自動復帰式 赤(火災警報)LED 点滅、音声合成音(70dB(A)/m 以上)
一酸化炭素注意報機能	<ul style="list-style-type: none"> ・検知対象ガス：住宅で発生する一酸化炭素 ・検知方式：電気化学式 ・公称作動濃度：100ppm ・表示/発報方式：即時警報型、自動復帰式 黄(一酸化炭素注意報)LED 点滅、 音声合成音(70dB(A)/m 以上)
販売ルート	当社が運営するインターネット通販サイト、 全国のホームセンター・家電量販店など
価格	オープン

※2:住宅用防災警報器及び住宅用防災報知設備に係る技術上の規格を定める省令(平成 17 年総務省令第 11 号)第 11 条の規定に基づき、総務大臣に認証された基準の特例です。



<新コスモス電機株式会社 会社概要>

1964年に世界で初めて家庭用ガス警報器を開発。ガスセンサの研究開発から、それらを搭載した家庭用ガス警報器、産業用ガス検知警報器、住宅用火災警報器、ニオイセンサ等を製造・販売するガス警報器・火災警報器の専門メーカー。2023年5月、兵庫県三木市に火災実験の見学施設「PLUSCO Lab. (プラシオラボ)」を開所。火災を再現し、PLUSCO(プラシオ)が従来の火災警報器(煙式)よりも先に発報して危険をお知らせする様子をご覧ください。



<株式会社山善 会社概要>

工作機械、産業機器、機械工具、自動化ロボットなど、世界のものづくりを支える「生産財」と、快適で便利な住まい・オフィス環境をつくる住宅設備機器や、くらしを豊かに彩る生活用品などの「消費財」を提供する専門商社です。中でも、家庭機器事業部では、防災用品の他、カーテンや布団・洗濯物などの障害物がセンサに近づくと通電をストップさせる電気ストーブなど、安全対策を施した商品開発にも注力しています。

今後も当社は、パーパスである「ともに、未来を切拓く」のもと、世界のものづくりと豊かなくらしをリードしてまいります。

※ ニュースリリースの内容は発表時のものです。

閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

(お問合せ窓口) 株式会社 山善 広報・IR室 担当 尾藤
電話 090-9873-6745
E-mail : info07@yamazen.co.jp